

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(小学校用)

都道府県名	熊本県
-------	-----

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	天草郡松島町立今津小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	2	2	1	2	2	1	2	12	21
児童数	46	43	39	45	48	40	4	265	

研究の概要

1. 研究主題

<p>「確かな学力」を身につけた児童の育成 ～基礎・基本の定着を図る指導法の工夫～</p>
---

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年から6年の国語、算数 児童の理解の状況に差が出やすい教科であり、当該教科に関する実践の実績があるため</li> </ul>
---

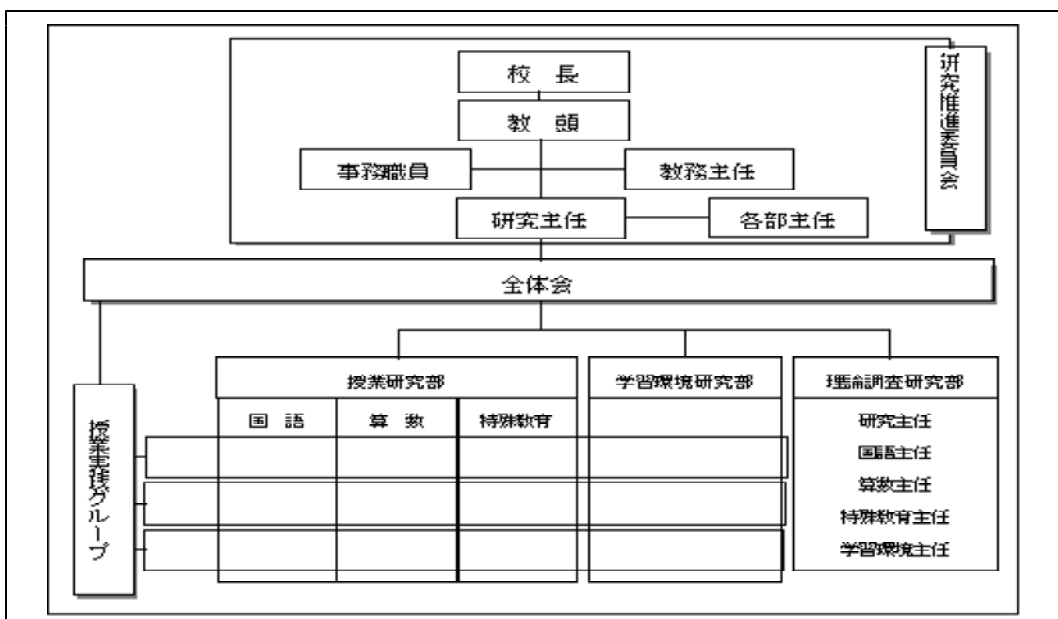
(2) 年次ごとの計画

平成15年度	<p>テーマ 「確かな学力」を身につけた児童の育成 ～基礎・基本の定着を図る指導法の工夫～</p> <p>研究の見通し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国語、算数において、個に応じた指導のための指導方法及び指導体制とともに、評価のあり方と指導と評価の一体化を工夫すれば、基礎・基本の定着を図ることができるであろう。</li> <li>・授業と授業外の学習の場で、くり返し指導等を工夫すれば、基礎・基本の定着を図ることができるであろう。</li> </ul> <p>研究の内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導目標の分析や評価規準の設定等基礎・基本の明確化の過程について研究する。</li> <li>・国語及び算数において、少人数指導等個に応じた指導法及び指導と評価の一体化について研究する。</li> <li>・授業及び授業外の学習の場における読・書・計算等のくり返し指導の在り方について研究する。</li> <li>・学習態度や学び方の育成に関して、保・小及び小・中連携の在り方を研究する。</li> </ul>
--------	--

平成16年度	<p>テーマ 「確かな学力」を身につけた児童の育成 ～基礎・基本の定着を図る指導法の工夫～</p> <p>研究の見通し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国語、算数において、個に応じた指導のための指導方法及び指導体制とともに、評価のあり方と指導と評価の一体化を工夫すれば、基礎・基本の定着を図ることができるであろう。</li> <li>・授業と授業外の学習の場で、くり返し指導等を工夫すれば、基礎・基本の定着を図ることができるであろう。</li> </ul> <p>研究の内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国語及び算数において、少人数指導の特性を生かした、徹底指導と能動型学習のめりはりのある学習過程及び個に応じた指導と評価の在り方について研究を深める。</li> </ul>
--------	--

- ・授業、授業外の学習及び家庭学習において、児童が学び方を知り、個々の目標に向けて自ら学ぶ指導の在り方について研究を深める。

### (3) 研究推進体制



### 平成15年度の研究成果及び今後の課題

#### 1. 研究成果及び今後の課題

##### 基礎・基本の明確化について

- ・指導内容における基礎・基本の明確化については、授業研究の柱として常に研究協議してきた。天草管内で作成されたものを、順次学校化していく。
- ・評価規準については単元の評価計画立案において、天草管内で作成したものをもとに検討協議してきた。毎時間の評価を形成的な評価と総括的な評価におおよそ類別し、それぞれの機能を生かしながら評価しその結果を活用している。今後、さらに研究を深める。

##### 国語、算数における指導方法や指導体制の工夫について

- ・国語少人数指導においては、年間を通じた習熟度において等質の2グループ別の指導を基本としつつ、少人数の利点を生かした個に応じた指導を工夫してきた。また、児童の興味関心に応じた課題選択や多人数の学習が効果的と考えられる場合は、目的に応じた学習形態も工夫した。今後、本校の実態に応じた国語学習指導の在り方を確立していく。
- ・算数少人数指導においては、習熟度の異なる2グループ別指導の在り方を工夫してきた。グループ編成は、単元ごとにレディネステストや児童・保護者への希望調査等をもとに担任が決定した。今後、本校の実態に即したグループ編成のあり方について引き続き検討していく。
- ・習熟度に応じた単元構成の在り方、少人数を生かした個に応じた指導の在り方については授業モデルを設定し、研究実践を進めてきた。今後、これまでの実践を整理し、さらに授業改善を進めていく。
- ・1・2年の国語、算数において、週2時間TT指導を実施してきた。授業モデルを作成し、効果的な指導の在り方について研究実践を進めた。来年度は、2年算数科で週4時間実施することとしている。今年度の実践を整理し、来年度の指導計画に生かしていく。
- ・徹底指導と能動型学習の場の設定については、主に知識・理解、技能・表現を目標とする指導過程を徹底指導、主に関心・意欲、思考・判断を目標とする指導過程を能動型学習の場と位置づけ、その指導法等について授業研究を行ってきた。今後、指導過程や指導法についてさらに研究を進めていく。

##### 基本的学習態度・学び方の定着について

- ・基本的学習態度・話し合いの話し方については、1学期の児童の実態を踏まえ、系統性を考慮した指導事項について共通理解を行い、2学期より共通実践してきた。今後、定着状況を評価し、指導の在り方を工夫していく。

##### 教材の工夫について

- ・ 発展的・補充的な学習の教材については、市販の教材や自作教材を活用し、学年や学級ごとに研究的に実践してきた。今後、各実践を踏まえ、各資料の効果を評価し、適切な資料を選定するとともに、資料ごとに授業、家庭学習等使用する場を位置づけ、有効な活用法について整理する。
  - ・ 児童が個々の目標をもって取り組む教材については、2学期から漢字検定、読書、音読、マス計算等の中から各学級の実態に応じて内容を選択し実践を行った。今後、効果的な実践を工夫するとともに、これまでの実践を評価し、来年度継続的に共通実践する内容を検討する。
- 評価及び指導と評価の一体化について
- ・ 単元を通した評価の在り方については、授業研究等を通して、基礎・基本の明確化と具体的な評価規準の設定について研究協議してきた。また、形成的評価と総括的評価の場を明確にし、評価法や評価基準に基づいた判定の在り方について協議した。今後、さらに研究を進めていく。
  - ・ 単元の評価として各時の分析的評価を総括していく手順、またそれを評定として総括していく手順については、一般的な案に基づき研究実践している。今年度の実践を踏まえて整理する。
  - ・ 指導と評価の一体化を図る指導過程については、評価の活用方について共通理解を図り、研究実践を進めた。今後、授業実践の中でさらに研究を進める。
- 授業外の学習の場の設定と指導の工夫について
- ・ 始業前の「ぐんぐん読書」「ぐんぐん学習」、放課後の「ひまわり学習」等の学習の場を設定し、目標に迫る実践を工夫してきた。今後も全職員で指導できる体制を整えるとともに、研究実践を進める。
  - ・ 家庭学習については、各学年ごとのねらい、内容、手立て等の指導状況を整理し研究してきた。今後、各学年の実施状況と成果を整理し、指導計画を検討する。
- 保・小及び小・中の連携について
- ・ 保・小の連携については、保育園による授業参観、本校職員の保育参観、園児と児童の交流等その推進を図った。今後、合同研修や保護者交流等を課題として、一層の連携を進める。
  - ・ 小・中の連携については、中学校区三校交流事業として授業参観や学習指導、生活指導、総合的な学習の時間等についての意見交換会を行った。今後は交流の機会を増やし、一層の連携を進める。

#### 学力等把握のための学校としての取組

##### 実態の把握

標準学力検査、県教育委員会評価問題「ゆうチャレンジ」等諸検査の結果を分析し、教科計画を見直すとともに、実施上の配慮事項等につて共通理解を図った。今後、実践状況を確認し、対策の成果と課題について整理する。

単元の観点別評価結果については、次単元の指導計画立案に生かし、そのことの意義等について授業研究を通して協議してきた。今後、分析と活用の方法の具体化と一般化を図る。

家庭における児童の学習状況等の実態について、学期1回の児童・保護者向けアンケートを実施し、研究実践に生かしていく。

#### フロンティアスクールとしての研究成果の普及

##### 研究成果の公開等

研究推進の状況を天草郡小中学校等に対し平成16年2月17日に授業研究会として公開する。

研究の取組の概要及び指導案等資料を冊子として天草郡小中学校等に配付するとともに、ホームページを開設しインターネット上で公開する。

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- 【新規校・継続校】       15年度からの新規校       14年度からの継続校
- 【学校規模】               6学級以下                       7～12学級  
                                  13～18学級                       19～24学級  
                                  25学級以上
- 【指導体制】               少人数指導                       T・Tによる指導  
                                  一部教科担任制                       その他
- 【研究教科】               国語                       社会                       算数                       理科  
                                  生活                       音楽                       図画工作                       家庭  
                                  体育                       その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】       有       無